

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2007-184911(P2007-184911A)

【公開日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-027

【出願番号】特願2006-327363(P2006-327363)

【国際特許分類】

H 04 N	5/225	(2006.01)
G 03 B	13/36	(2006.01)
G 02 B	7/34	(2006.01)
G 02 B	7/36	(2006.01)
H 04 N	101/00	(2006.01)

【F I】

H 04 N	5/225	B
G 03 B	3/00	A
G 02 B	7/11	C
G 02 B	7/11	D
H 04 N	101:00	

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月19日(2009.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体像を光学式ビューファインダへと導くために撮像光学系の光路内に対して進退自在に配設される可動ミラーを有するデジタルカメラであって、

前記撮像光学系で形成された被写体像を撮像して画像データを生成する撮像素子と、

前記撮像素子で生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データを表示する表示部と、

リモートコントローラからの制御信号を受信する受信部と、

前記撮像素子で生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データを、リアルタイムで動画像として前記表示部に表示するよう制御するライブビューモードを有する制御部と、を備え、

前記制御部は、

前記受信部が前記リモートコントローラからの制御信号を受信すると、ライブビューモードに移行するよう制御する、

デジタルカメラ。

【請求項2】

自装置の制御に関するユーザからの指示を受け付ける操作部と、

前記撮像素子による記録用画像の撮像開始についてユーザからの指示を受け付けるレリーズ部と、をさらに備え、

前記制御部は、

ライブビューモードに移行した後、前記操作部または前記レリーズ部が操作されたか否かを監視し、前記操作部または前記レリーズ部が操作されると、前記受信部が前記リモ

ートコントローラからの制御信号を受信してライブビュー モードに移行する前の状態に戻るよう制御する、

請求項 1 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 3】

被写体像を光学式ビューファインダへと導くために撮像光学系の光路内に対して進退自在に配設される可動ミラーを有し、交換レンズを着脱可能なカメラボディであって、

前記撮像光学系で形成された被写体像を撮像して画像データを生成する撮像素子と、

前記撮像素子で生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データを表示する表示部と、

リモートコントローラからの制御信号を受信する受信部と、

前記撮像素子で生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データを、リアルタイムで動画像として前記表示部に表示するよう制御するライブビュー モードを有する制御部と、を備え、

前記制御部は、

前記受信部が前記リモートコントローラからの制御信号を受信すると、ライブビュー モードに移行するよう制御する、

カメラボディ。

【請求項 4】

自装置の制御に関するユーザからの指示を受け付ける操作部と、

前記撮像素子による記録用画像の撮像開始についてユーザからの指示を受け付けるレリーズ部と、をさらに備え、

前記制御部は、

ライブビュー モードに移行した後、前記操作部または前記レリーズ部が操作されたか否かを監視し、前記操作部または前記レリーズ部が操作されると、前記受信部が前記リモートコントローラからの制御信号を受信してライブビュー モードに移行する前の状態に戻るよう制御する、

請求項 3 に記載のカメラボディ。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 に記載のカメラボディと交換レンズとからなる、カメラシステム。

【請求項 6】

被写体像を光学式ビューファインダへと導くために撮像光学系の光路内に対して進退自在に配設される可動ミラーを有するデジタルカメラの制御方法であって、

リモートコントローラからの制御信号を受信し、

前記リモートコントローラからの制御信号の受信に応じて、前記可動ミラーを前記撮像光学系の光路から退避させて、前記撮像光学系で形成された被写体像を撮像して画像データを生成し、前記生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データをリアルタイムで動画像として表示するライブビュー モードに移行する、

デジタルカメラの制御方法。

【請求項 7】

前記デジタルカメラは、

自装置の制御に関するユーザからの指示を受け付ける操作部と、

前記撮像素子による記録用画像の撮像開始についてユーザからの指示を受け付けるレリーズ部と、をさらに備え、

ライブビュー モードに移行した後、前記操作部または前記レリーズ部が操作されたか否かを監視し、

前記操作部または前記レリーズ部が操作されると、前記受信部が前記リモートコントローラからの制御信号を受信してライブビュー モードに移行する前の状態に戻る、

請求項 6 に記載のデジタルカメラの制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】デジタルカメラ、カメラボディ、カメラシステム、デジタルカメラの制御方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明は、可動ミラーを含むとともに被写体像を電子ビューファインダでライブビュー表示する際に、その操作性を向上することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明のデジタルカメラは、被写体像を光学式ビューファインダへと導くために撮像光学系の光路内に対して進退自在に配設される可動ミラーを有するデジタルカメラであって、前記撮像光学系で形成された被写体像を撮像して画像データを生成する撮像素子と、前記撮像素子で生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データを表示する表示部と、リモートコントローラからの制御信号を受信する受信部と、前記撮像素子で生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データを、リアルタイムで動画像として前記表示部に表示するよう制御するライブビューモードを有する制御部と、を備え、前記制御部は、前記受信部が前記リモートコントローラからの制御信号を受信すると、ライブビューモードに移行するよう制御する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明のカメラボディは、被写体像を光学式ビューファインダへと導くために撮像光学系の光路内に対して進退自在に配設される可動ミラーを有し、交換レンズを着脱可能なカメラボディであって、前記撮像光学系で形成された被写体像を撮像して画像データを生成する撮像素子と、前記撮像素子で生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データを表示する表示部と、リモートコントローラからの制御信号を受信する受信部と、前記撮像素子で生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データを、リアルタイムで動画像として前記表示部に表示するよう制御するライブビューモードを有する制御部と、を備え、前記制御部は、前記受信部が前記リモートコントローラからの制御信号を受信すると、ライブビューモードに移行するよう制御する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明のカメラシステムは、上記カメラボディと交換レンズとからなる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明のデジタルカメラの制御方法は、被写体像を光学式ビューファインダへと導くために撮像光学系の光路内に対して進退自在に配設される可動ミラーを有するデジタルカメラの制御方法であって、リモートコントローラからの制御信号を受信し、前記リモートコントローラからの制御信号の受信に応じて、前記可動ミラーを前記撮像光学系の光路から退避させて、前記撮像光学系で形成された被写体像を撮像して画像データを生成し、前記生成された画像データ又はその画像データに所定の処理を施した画像データをリアルタイムで動画像として表示するライブビュー モードに移行する、

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明によれば、可動ミラーを含むとともに被写体像を電子ビューファインダでライブビュー表示する際に、その操作性を向上させることができる。